



Child AFRICA 2009年度活動報告書

2009年4月 — 2010年3月

Child AFRICA
TEL&FAX: 03-5414-7778
info@child-africa.org
<http://child-africa.org>



目次

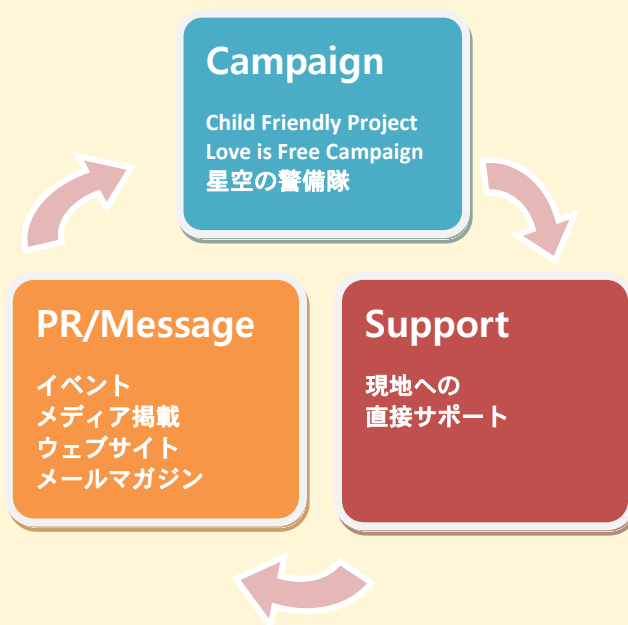
Child AFRICAとは	1
2009年度の活動	2
Campaign	2
Child Friendly Project	2
Love is Free Campaign	3
星空の警備隊	5
マリ共和国視察	6
PR/Message	7
Support	8
2009年度の活動一覧	9
メディア掲載	10
収支報告	11
組織概要	12

Child AFRICAとは



Child AFRICA（チャイルド・アフリカ）は、世界中の子どもたちが教育を受けられる環境づくりを目的に、2008年に始まった取り組みです。

私たちは、人がより豊かな生活を過ごすためには教育が不可欠であるとの思いから、アフリカにおける教育支援プロジェクトを実施、途上国の子どもたちの教育環境の改善を促進しています。





CHILD FRIENDLY PROJECT

(チャイルド・フレンドリー・プロジェクト)

2009年度は、2008年度の活動を通して集まった寄付2,499,850円を、(財)日本ユニセフ協会を通じ、7月2日付でユニセフに寄付しました。

この寄付は、東ティモール共和国で行われた「基礎教育と教育の場でのジェンダー格差解消プロジェクト」実施のための費用の一部となりました。

また4月にはマリを訪問、「子どもにやさしい学校」のコンセプトに沿って運営されている学校を視察。その様子が、ウェブサイトやメディアを通じて紹介されました。

ユニセフ「東ティモール：基礎教育と教育の場でのジェンダー格差解消プロジェクト」を支援

同プロジェクトは、東ティモールの子どもたちの教育へのアクセスを改善すること、就学率を向上させること、退学率と留年率を減少させることを目標に、ユニセフにより実施されました（実施期間：2009年1月1日～2009年12月31日）。

本プロジェクトについての詳しい報告はウェブサイトに掲載しています。
→

広報イベント「Art for & Cook for Africa」

(協力：JAL、JALホテルズ、Volvic 「10 for 100」 プログラム)

開催場所：ホテル日航福岡、ホテル日航大阪、ホテル日航東京
期間：2009年7月18日～8月31日
Art for Africa! では、Volvic 「10 for 100」 プログラムの協力で集められた、マリの子どもたちが「水のある生活」をテーマに描いた絵のパネルを展示しました。



マリ共和国「子どもにやさしい学校」視察

協力：Volvic 「10 for 100」 プログラム
時期：2009年4月

ユニセフが支援し、「子どもにやさしい学校」のコンセプトに沿って運営されている学校を視察しました。視察の詳細は5頁をご覧ください。

マリ訪問レポートはこちらから→<http://child-africa.org/campaign/report/mali>

子どもにやさしい学校とは：

ユニセフが提唱する「子どもにやさしい学校」とは、子どもが楽しく通え、かつ学習の成果が出る学校づくりを進めていこうというコンセプトです。「子どもにやさしい学校」は、次の5つの要素を満たします。

- 全ての子どもを排除しない「非差別」であること。
 - 学習のために効果的であり、きちんと成果を出せること。
 - 健康的で保護的であること。
 - ジェンダーに配慮していること。
 - 子ども・家族・コミュニティが協力し、参加すること。
- 「子どもにやさしい学校」を推進する活動では、教材の提供からカリキュラム開発、先生の研修、水やトイレの設備、保護者会や教育の啓蒙活動を含めた総合的な支援を行います。Child AFRICAのCFPは、この「子どもにやさしい学校」のコンセプトに賛同して始めました。



LOVE IS FREE CAMPAIGN

(ラブイズフリー・キャンペーン)

2009年7月7日より、マラウイの子どもたちをサポートする「Love is Free Campaign」を開始。

このキャンペーンは、2008年11月にChild AFRICAがマラウイ共和国で出会った少女エリナと、エイズ孤児のためのサポートセンター「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」を運営するチャポンバ先生を支援するものです。

マラウイでは、乳幼児死亡率が1000人中112人と大変高く（日本では1000人中8人）、その主要原因の一つはマラリアなどの感染症。そこでキャンペーンでは、子どもたちにマラリア予防のための蚊帳や教材を送る活動を中心とした支援を行っています。

現地調査の実施

支援開始にあたり、マラウイの首都郊外ナミテテ地区にて2週間の調査を実施。現地の人々のマラリア罹患経験や、予防法への知識の度合いを調査しました。

調査報告はこちらから→

<http://child-africa.org/support/leanknowthink/malariatollonchildren/>

Love is Free Campaign特設サイト

キャンペーン特設サイトを公開。活動報告や、マラリアやマラウイでのマラリアの現状についての情報を提供しています。

特設サイト上からキャンペーンサポーターを募集。登録サポーターに向け、月2回のサポーター通信を発行しました。また、モバイルサイト内にて、10秒でわかるアフリカ紹介コーナー「10 Seconds Africa(テンセカンズ・アフリカ)」を展開、マラリア情報を紹介しました。

特設サイトはこちらから→<http://loveisfree.child-africa.org/>

第一回蚊帳配布

2010年2月には、第一回の蚊帳配布を実施。

コンソル・ホームズ・オルファン・ケアの子どもたちに対し、蚊帳500張及び天体望遠鏡とおもちゃを贈りました。配布に際してはマラリア予防への意識調査、及び保健ワーカーによる健康チェックを実施。また配布した家庭を対象に、蚊帳の使用状況について事後調査を実施しました。



第1回蚊帳の配布レポートはこちらから→

<http://child-africa.org/campaign/report/osquito-net/>

企業との協働

キャンペーンに対し、様々な企業や機関の皆様からご協力をいただきました。リコー社会貢献クラブFreeWill様、株式会社円谷プロダクション様からご寄付を、自然科学研究機構国立天文台様、マルカ株式会社様から物品提供のご協力をいただきました。

また、キャンペーンではチョコレートショップ・バニラシュガー様と協働で新商品「星空のショーコラ」を開発。売上の一部がキャンペーンに寄付されます。株式会社フルスロットルズ様、JALホテルズ様に、この「星空のショーコラ」を使用した協賛キャンペーンを実施して頂きました。この売上を通じたご寄付は、第二回目以降の蚊帳配布に役立てられます。





星空の警備隊

2009年9月、MISIAとウルトラマンが「星空の警備隊」を結成。

「地球の子どもたちを守る」ため、世界の子どもたちが置かれている状況や、それを改善するための「ミレニアム開発目標」(MDGs)について広く知ってもらうためのメッセージ活動を行いました。

MDGsについては、6ページに詳しく掲載しています。

ウルトラマン、スペシャルサポーターに就任

ウルトラマンがChild AFRICAのスペシャルサポーターに就任しました。子どもたちにもわかりやすく、世界の子どもたちを取り巻く環境について伝えます。

ウルトラマン

1966年にテレビ作品「ウルトラマン」として登場してから40余年、日本のみならず世界にその名を知られ、高い人気を誇る正義のヒーロー。

身長40メートル、体重3万5千トン。年齢約2万歳。

光のエネルギーを活動源とし、様々な必殺光線を駆使して平和を脅かす敵と戦う。

最も得意とする技は、両腕を十字に組んで放つスペシウム光線。

ウルトラマンは地球を離れること300万光年の彼方にあるM78星雲・光の国に本部を置く宇宙警備隊の一員であり、宇宙の摂理を捻じ曲げる侵略者や悪魔のような怪獣たちと戦う使命を帯びている。

ある事件がきっかけでこの地球にとどまることになり、地球平和のために献身するその姿は、多くの地球人の賞賛と憧れを集めた。



© 円谷プロ

星空の警備隊特設サイト立ち上げ

2009年12月、星空の警備隊特設サイトを公開。特設サイトでは、地球の子どもたちを守るために知ってもらいたいメッセージを発信。

ミレニアム開発目標の内容等を紹介しています。



特設サイトはこちらから→<http://hoshizora.child-africa.org/>

星空の警備隊グッズ

2009年3月より、星空の警備隊特設オンラインストア「星空のミュージアム」にて、星空の警備隊オリジナルグッズの販売を開始。収益の一部が星空の警備隊の活動に役立てられます。

星空のミュージアムはこちらから→

http://child-africa.org/hoshizora_museum/



世界天文年2009との協力

Child AFRICAは、世界天文年2009と連動。2009年4月にはマリ、2010年2月にはマラウイで、子どもたちに望遠鏡を届けました。今後も「星空の警備隊」として、途上国の子どもたちに天文の楽しさと好奇心を持ってもらう「君もガリレオ」企画に協力していく予定です。

世界天文年2009はこちらから→<http://www.astronomy2009.jp/>

ミレニアム開発目標とは



2000年9月、国連ミレニアムサミットにて、189の加盟国が全会一致で「ミレニアム宣言」を採択しました。宣言の中では、21世紀を迎えるにあたり、「平和で繁栄した公正な世界を作り出すこと」「貧困をなくすこと」などを目指し、国際社会が一致団結して取り組むことを表明しています。

この国連ミレニアム宣言と、1990年代に採択された国際開発目標を統合したものが、ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs) です。MDGsは、「世界の貧困を半減する」など8つの具体的な数値目標を2015年という期限内に達成することを目指しています。

- ゴール1： 極度の貧困と飢餓の撲滅
- ゴール2： 初等教育の完全普及の達成
- ゴール3： ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- ゴール4： 乳幼児死亡率の削減
- ゴール5： 妊産婦の健康の改善
- ゴール6： HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
- ゴール7： 環境の持続可能性確保
- ゴール8： 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

Child AFRICAは、この8つのゴールのうち、すべての子どもたちが学校に通えるようになることを目指すゴール2、子どもたちをマラリアなどの感染症から守るゴール6の達成を中心に据え、活動しています。



マリ共和国視察

Child AFRICAは、2009年4月に西
アフリカ・マリ共和国を訪問。

Volvic「10 for 100」プログラ
ムの支援でユニセフが実施する水と
衛生の事業を視察し、現在アフリ
カで起こっている水に関わる問題
について、また清潔で安全な水を
手に入れられることが子どもたち
の生活にどう影響するのかを考え
、発信することを目的として渡
航しました。

マリ共和国とは：



西アフリカに位置する
内陸国。

政情は比較的安定していますが生活状況
は厳しく、国連開発計画（UNDP）が算定
する、その国の人の生活状況や発展具合
を見る人間開発指数（HDI）によると、マ
リは179カ国中168位（2008年）。

HDIの達成が最も低い国の一つです（日本
は8位）。

また、清潔で安全な水を得ることができ
る人の割合は全国平均で60%、農村ではそ
の割合は48%に過ぎません。

このために、水を媒介とする下痢や寄生
虫性疾患などが蔓延し、5歳未満の子ども
の死亡原因の18%が下痢性の病気と言われ
ています（UNICEF、2006年）。

視察を通じて

今回は5つの村と3つの学校を訪問。水
を取り巻く現状を視察しました。



視察を通じ
て、マリの
農村では不
衛生な水の
ために下痢
性疾患や寄
生虫症を患
うケースが

いまだに多く存在することを実感。

同時に、清潔で安全な水を継続的に得
るには、衛生教育や、水施設を整備す
るための教育が不可欠であること、そ
して教育があればこそ清潔で安全な水
の重要性を理解し、健康を守ることが
できるのだという、衛生と教育の深い
関連性を実感しました。そうした気づ
きを、メディア露出やイベント開催な
どを通じ、広く伝える活動を行いました。

広報活動

メディア掲載を通じた広報活動の
ほか、株式会社日本航空および
JALホテルズのご協力で、広報イ
ベントArt for Africaを実施（詳
しくは6pをご覧ください）。

併せてChild AFRICAウェブサイト
上でも視察レポートを掲載しまし
た。

視察レポートはこちらから→

<http://child-africa.org/campaign/report/>

JAL国際線機内番組放映

（協力：JAL、Volvic「10 for 100」プログラム）

2009年12月～2010年1月にか
けて、JAL国際線機内番組で、マリ
視察の際の映像が放映されまし
た。

現地で学び、感じた清潔で安全な
水の重要性、それが子どもたちの
未来に与える影響などを鮮やかな
映像と音楽で伝えました。

Volvic 10 for 100プログラム

「10 for 100」プログラムは、Volvic
が実施する、アフリカに清潔で安全な
水を確保することを目的にした社会貢
献活動。ボルヴィックの売上の一部を
ユニセフに寄付、その寄付金をもとに
ユニセフがアフリカに井戸を新設、10
年間のメンテナンスを行います。



マリ視察メディア掲載

2009年5月6日 テレビ朝日系列「スーパーモーニング」
2009年7月2日 モノマガジン
2009年7月22日 Tarzan

（Art for& Cook for Africa）

2009年7月17日 日刊航空
2009年7月18日 読売新聞北九州版
2009年7月22日 月刊ホテル旅館
2009年7月28日 毎日新聞北九州版
2009年8月15日 J-WAVE Kiss& Hug



イベント・広報

Child AFRICAでは、アフリカの子どもの現状や、世界の教育問題について知ってもらう機会を提供するため、2009年度も様々な広報活動を行いました。

イベント

● トークセッション開催

2009年12月15日、早稲田大学グローバルヘルス研究所との共同トークセッション「MISIA&信藤三雄 ART・MUSICを通して世界の子どもの命を語る」を開催。

代表理事の信藤三雄とMISIAが、自身の作品やChild AFRICAを通じた活動を紹介。学生に向けてメッセージを送りました。

● Child AFRICAパネル展示

(協力：株式会社シズオクト、株式会社円谷プロダクション)



● 「大切なあなたと、大切な地球の上で。」

美しの里-The Breaths of Glacier-

日時：2009年12月18日～20日

会場：東京タワー

● 「お正月だよ！ウルトラマン全員集合！」

日時：2009年12月26日～2010年1月3日

会場：東京ドームシティプリズムホール

下記イベントで、Child AFRICA写真パネルの展示を行いました。

※「お正月だよ！ウルトラマン全員集合！」開催期間中にはキング神社を設置。

集まった76,715円はChild AFRICAにご寄付いただきました。

メールマガジン

メールマガジン登録者に向けて、月に2回の定期メールマガジン及び不定期の号外メールマガジンを発行。

メルマガ登録者数は2010年4月15日の時点で672名、発行したメールマガジンは号外を含め通算43号になりました。

Child AFRICAの活動やイベント情報のほか、アフリカを身近に感じてもらえるようなトピックスを紹介しました。

ウェブサイト

2009年度も、ウェブサイトを通じた情報発信に注力。

Child AFRICAの活動を紹介するだけでなく、なぜそうした取り組みが必要なのか、どういった環境がアフリカの子どもたちを取り巻いているのか、を紹介するコンテンツを掲載しました。



ア
フリ
カ
を
学
ぶ
知

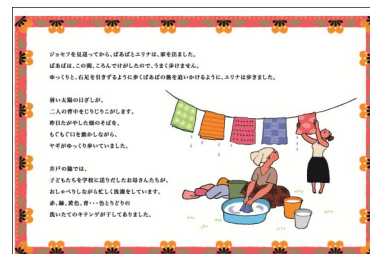
WEBサイト追加記事一覧

- 子どもにやさしい学校とは
- アフリカの学校事情
- マラリアとアフリカの子どもたち
- アフリカの子どもたちからのメッセージ
- 英語版の開設

る・考える絵本「アフリカの村から～エリナの物語～」

国連開発計画（UNDP）、「動く→動かす」と協働で、ミレニアム開発目標（MDGs）を紹介するWEB絵本「アフリカの村から～エリナの物語～」を作成、公開しました。

この絵本は、Child AFRICAがマラウイで出会った少女エリナの生活をモチーフに、アフリカの子どもたちがどのような現状や問題に直面しているのかを



「エリナの物語」より

紹介しています。

WEB絵本はこちらから→

<http://www.undp.or.jp/mdgsafrica/>



サポート

Child AFRICAは、2009年度も多くの個人、企業の皆様からのサポートを、現地の子どもたちに還元してきました。

現地に向けてのサポート

Child Friendly Project

Child Friendly Projectでは、2008年度より「子どもにやさしい学校」を推進するユニセフの活動を支援する募金活動を展開。

集まった寄付**2,499,850円**を、2009年7月2日付で（財）日本ユニセフ協会を通じ、ユニセフに寄付しました。

この寄付はユニセフが東ティモール共和国で実施した、「基礎教育と教育の場でのジェンダー格差解消プロジェクト」の活動資金の一部に充てられました。

マリの水と衛生事業支援

2009年7月18日～8月31日の期間中、JALホテルズ3ホテルにて、広報イベントArt for& Cook for Africaを実施（協力：JAL、JALホテルズ、Volvic「10for 100」プログラム）。各会場に募金箱を設置しました。

集まった募金総額**276,270円**を、（財）日本ユニセフ協会を通じ、ユニセフがマリ共和国で実施する水と衛生改善プロジェクトに寄付しました。

Love is Free Campaignマラリア予防支援

マラウイの子どもたちをサポートするLove is Free Campaignの一環で、2010年2月には第一弾の蚊帳500張を届けました。また、配布の際にはあわせておもちゃと天体望遠鏡を贈りました。

第一回蚊帳配布の詳しい報告はこちらから→

<http://child-africa.org/campaign/report/mosquito-net/>

学費支援

2007年、2008年のケニア・マゴススクール訪問の際に出会った少女エミテワに、学費支援を行いました。支援金40万円は、エミテワの中学校進学のための学費に充てられます。

個人・企業の皆様からのサポート

2009年度も、個人、企業の多くの皆様からサポートを頂きました。ご寄付のほか、ブログやウェブサイト上でのリンクやバナーの掲載、ブログ上でのご紹介など、様々な形での協力を頂きました。ご協力をいただいた企業、機関の皆様を下記にご紹介しています（50音順）。

Child AFRICAへのサポートについて、詳しくはこちらから

→<http://child-africa.org/support/takeaction/>

企業の皆様向けに、Child AFRICAとできる社会貢献活動をご紹介します。

詳しくはこちらから→<http://child-africa.org/support/takeaction/corporatepartnerships/>

■ご協力企業

JALホテルズ
株式会社シミズオクト
株式会社円谷プロダクション
株式会社ディー・エム・ピー
株式会社日本航空
株式会社フルスロットルズ
ダノンウォーターズオブジャパン株式会社
チョコレートデザイン株式会社
マルカ株式会社
リコー社会貢献クラブFreeWill

■ご協力機関

国連開発計画（UNDP）
自然科学研究機構国立天文台
独立行政法人国際協力機構

2009年の活動一覧

Campaign

PR/Message

Support

2009年4月

☆マリ共和国視察

5月

☆マリ視察映像放映:

5月6日テレビ朝日系「スーパーモーニング」

☆WEB更新「子どもにやさしい学校とは」

☆「リンクグジャパン」寄稿

☆英語版ウェブサイト公開

6月

☆SPURLUXE記事掲載

☆WEB更新「アフリカの学校事情」/アフリカの子どもたちのメッセージ

☆Japan Times 記事掲載

7月

☆Art for Africa& Cook for Africa開催

☆2008年度CFPプロジェクト成果をユニセフに寄付

☆Love is Free Campaign開始

☆Love is Free Campaign特設サイト公開

☆キャンペーンサポーター募集開始

☆サポーターズ通信発行開始

☆(財)日本ユニセフ協会キャンペーンヘッページ寄稿

☆2008年度CFPプロジェクト成果をユニセフに寄付

☆イベント「Art for &Cook for Africa」にて募金活動を展開

8月

☆ウルトラマン、CAスペシャルサポーター就任

☆JICAイベントにメッセージ寄稿

☆イベント「Art for &Cook for Africa」にて募金活動を展開

9月

☆MISIAとウルトラマンが星空の警備隊結成

10月

☆星空の警備隊特設ページオープン

☆WEB絵本「学び、知り、考える絵本 アフリカの村から〜エリナの物語〜」公開

☆Art for& Cook for Africaで集まった募金をユニセフに寄付

11月

☆「星空のショーコラ」販売開始

☆「星空のショーコラ」販売開始

12月

☆JAL国際線機内映像として、マリ視察映像が放映

☆星空の警備隊サイトリニューアル

☆MISIA×信藤三雄トークセッション開催

☆東京タワーイベント「美しの里-The Breath of Glacier-」にてCAパネル展示

☆イベント「お正月だよ!ウルトラマン全員集合!!」でCAパネルを展示

2010年1月

2月

☆マラウイの子どもたちに蚊帳500張を配布

☆イベントマガジンBANZAI記事掲載

☆Child AFRICA Twitter開始

☆マラウイの子どもたちに蚊帳500張を配布

3月

☆マラウイにて蚊帳配布事後調査実施

☆星空のショーコラ販売終了

☆星空の警備隊グッズ販売開始

☆WEBサイト「第一回蚊帳配布レポート」掲載

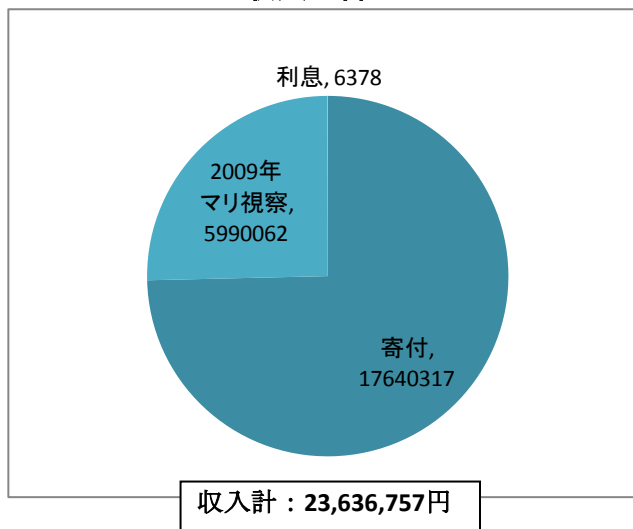
☆星空のショーコラ販売終了

2009年度のChild AFRICAの活動は、以下のメディアに取り上げられました。

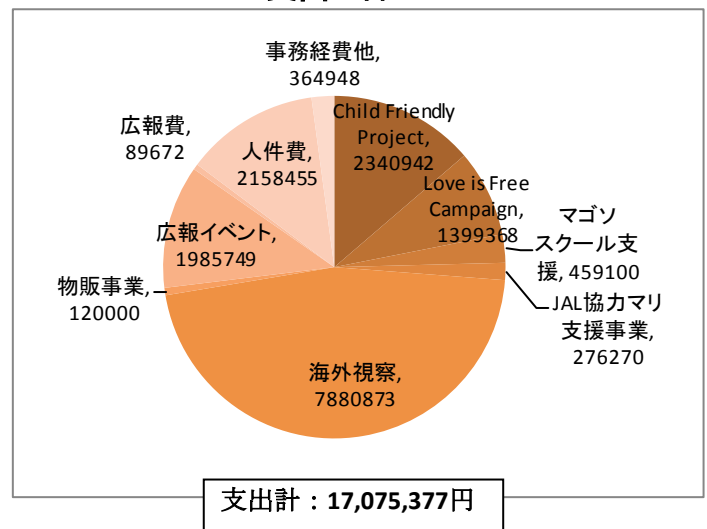
2009年5月6日	テレビ朝日系列「スーパーモーニング」
2009年6月2日号	SPURLUXE MISIAの社会貢献活動紹介記事掲載
2009年6月26日	Japan Times MISIAインタビュー記事掲載
2009年7月2日	モノマガジン「3年目の活動～MISIAが見たマリでの支援～」
2009年7月17日	日刊航空 イベント「Art for & Cook for Africa」紹介
2009年7月18日	読売新聞北九州版 イベント「Art for&Cook for Africa」紹介
2009年7月22日	Tarzan 「MISIAが現地で見してきた、マリの水、教育のこと。」
2009年7月22日	月刊ホテル旅館 イベント「Art for & Cook for Africa」紹介
2009年7月28日	毎日新聞北九州版 イベント「Art for & Cook for Africa」紹介
2009年8月15日	J-WAVE 「Kiss&Hug」 イベント「Art for&Cook for Africa」紹介
2009年11月号	JICA's World MONO語り「心と心をつなぐナイロビバッグ」
2009年12月19日	朝日新聞 ぴーぷる MISIA×信藤三雄トークショー記事掲載
2010年1月	「早稲田ウィークリー」 MISIA×信藤三雄トークショー記事、インタビュー
2010年2月	イベントマガジンBANZAI Child AFRICA事務局長長島 インタビュー掲載

収支報告

収入の部



支出の部



団体名称： Child AFRICA (チャイルド・アフリカ)
Ambassador: MISIA
代表： 信藤 三雄
事務局長： 長島 美紀
設立： 2008年8月
事務局員： 有給専従1名
Special Supporter： ユッソー・ンドゥール (Youssou N' Dour)、ウルトラマン
Advisor： 石田 洋子 ((財) 国際開発センター部長、東京大学大学院工学系非常勤講師)
勝間 靖 (早稲田大学大学院教授、早稲田大学グローバルヘルス研究所長)
黒田 一雄 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)
松本仁一 (ジャーナリスト、元朝日新聞編集員)
(社) 日本ユネスコ協会連盟
問合せ先： Child AFRICA事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-14-13 (株) リズメディア内
TEL&FAX： 03-5414-7778
Email: info@child-africa.org
URL: <http://child-africa.org>

